

第31回日本診療放射線技師学会の 演題募集について

平成 27年 4月 1日
公益社団法人
日本診療放射線技師会
会長 中澤 靖夫

第31回日本診療放射線技師学会の演題を下記要項により募集致します。
多数の応募をお待ちしております。

第31回 日本診療放射線技師学会演題募集要項

【1】発表形式と使用言語

1. 一般セッション

口述ならびに示説発表とし、抄録・スライド・ポスター・発表は日本語または英語で作成してください。

2. インターナショナルセッション

国際大会の位置付けとなります。英語での口述発表のみとし、抄録・スライドなどの原稿は全て英語で作成してください。日本語は不可とし、討論も英語のみとします。

3. 学生セッション

口述発表とし、抄録・スライド・発表は日本語または英語で作成してください。

4. 口述発表について

可搬型記録媒体（USBフラッシュメモリーまたはCD-R）にMicrosoft社プレゼンテーションソフトPowerPoint（拡張子pptx）で保存していただき、演者受付へお持ちください。演者受付PCと会場PCはWindows7、PowerPoint2013です。

Macintoshをお使いの方は、PowerPoint（拡張子pptx）で保存したデータをお持ちください。PCの持ち込みは不可としますので、事前にWindows7、PowerPoint2013での動作確認を行っておってください。

動画を使用される方は、その動画をPowerPointに埋め込んでください。リンク形式にされると、サーバーに転送したときに再生できない可能性があります。動画の形式はWindows7標準で再生可能な形式のみとします（wmv、mpg4、mpg2形式など）。音声の再生はできませんので、ご了承ください。

PowerPointと添付ファイルのデータ容量合計は200MBを上限とします。

発表時間7分、討論3分とします。時間を厳守してください。

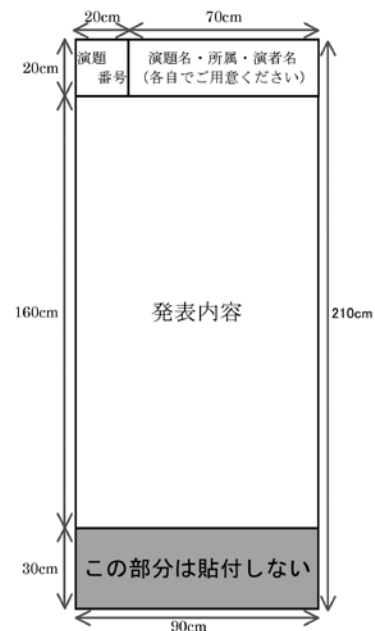
5. 示説発表について

ポスターによる示説発表とします。写真図表が主体となる発表は示説発表をお勧めします。示説発表は座長進行による討論を行います。発表時間3分、討論3分とします。時間を厳守してください。

ポスターパネルサイズは右図の通りと致します。演題名・所属・氏名は各自ご準備ください（縦20cm×横70cm）。なお演題番号は事務局で準備します。

本文は下記の通りと致します。

- 1枚で展示の場合は縦160cm×横90cmです。
- 分割展示の場合はB4サイズを基本とし、横向きで、縦6段、横2列の合計12枚とします。
（A4サイズ分割展示の場合は横向きで、縦7段、横3列の合計21枚が展示可能です。）



【2】応募資格

一般セッションの発表者は、日本診療放射線技師会会員で平成26年度会費完納者に限ります。

学生セッションでの発表者は当日に学生証を持参してください。学生とは診療放射線技師養成機関の学生を対象とし、診療放射線技師免許未取得者に限ります（大学院生など、技師免許取得者は対象になりません）。

共同研究者は5名までとします。

【3】募集期間：平成27年4月1日(水)～平成27年7月13日(月) 正午まで**【4】登録方法**

第31回日本診療放射線技師学術大会ホームページ (<http://www.c-linkage.co.jp/31jcrt/>) の「演題募集」より、サイト内の登録方法の詳細を確認した上で演題登録をしてください。

日本診療放射線技師会ホームページ (<http://www.jart.jp/>) から大会ホームページに進むことができます。

登録には演題区分（【9】を参照）、発表者名、発表者所属機関名、発表者会員番号、共同研究者名、共同研究者所属機関名、共同研究者会員番号が必要です。

一般セッションと学生セッションでは抄録（本文400字以内）が必要です。

国際セッションでは、英文抄録（250単語以内）が必要です。

演題受領通知は、e-mailで登録時、修正時にその都度連絡します。受領メールが届かない場合は、運営事務局（jcrt31@c-linkage.co.jp）までお問い合わせください。

学生、非会員および入会手続き中の方は、登録の際、会員番号欄に「99999」（5桁）と入力してください。

【5】演題の採否、演題区分、発表形式、日時について

応募演題の採否、演題区分、日時および発表形式の変更（口述、示説）は、プログラム委員会で決定します。決定後の変更は一切認めません。

演題採用通知書は8月末日までにメールで申し込み者全員に通知します。

応募演題の内容が優れた場合であっても、他の関連学会や研究会ならびに地域学術大会などで発表されたもの、または明らかに内容が酷似していると判断されたものについては、プログラム委員会で不採用の決定をする場合があります。

応募演題については、基礎研究、応用研究のいずれにおいても研究倫理に十分な配慮がなされたものであり、発表内容に関しては発表者が最終責任を負うこととします。

示説発表の優れたものについて大会期間中に選考し、表彰します（優秀賞、まゆまる賞）。

【6】研究の倫理面に関する注意事項について

応募演題の研究の内容により、厚生労働省などによる倫理指針および所属施設が定めた倫理規定を順守することが必要です。特に人を対象とした研究では、あらかじめ倫理委員会などによる審査を受けておく必要がある場合がありますのでご注意ください。

【7】利益相反の開示について

産学連携による臨床研究の適正な推進を図り、科学性・倫理性を担保に遂行された臨床研究成果の発表における中立性と透明性を確保するため、全ての発表者に「利益相反（Conflict of Interest；COI）」の開示を求めます。演題登録画面の「利益相反の有無」の入力欄で「ある」または「ない」をご選択ください。「ある」の場合、利益相反に関する申告書をご提出いただく必要があります。詳細につきましては、日本診療放射線技師会ホームページをご覧ください。

【8】注意点

提出いただいた抄録は、学術大会の演題コンテンツの一部として大会ホームページなどに掲載しますので了承をお願いします。

演題登録は原則として専用サイトを利用したオンラインのみとします。オンライン登録はインターネットに接続でき、本人の電子メールが利用できる環境が必要です。

演題登録の受け付けは、申し込み時に登録いただいたメールアドレスに電子メールで連絡します。確認メールが届かない場合は未登録扱いとなりますので、運営事務局まで問い合わせてください。そのまま放置された場合、運営事務局では一切の責任を負いません。

第31回日本診療放射線技師学術大会

〈事務局〉

公益社団法人 京都府放射線技師会 E-mail : kyohogi@mbox.kyoto-inet.or.jp

〈運営事務局〉

株式会社コンベンションリンクージ E-mail : jcrt31@c-linkage.co.jp

【9】演題領域区分

I. 医療基礎セッション

1 医療社会倫理	医療技術の進展に伴って生じる臨床上的の問題、インフォームドコンセント、接遇（患者とコミュニケーション・接遇、五感の不自由な患者への対応、セクハラ防止）、Aiなど
2 チーム医療	チーム医療への取り組み（実践例）・がん医療
3 カウンセリング	放射線カウンセリング学の研究、調査、教育
4 公衆安全	医療被ばく低減のため、放射線による公衆への危害を防止するための調査研究、医療被ばくガイドラインに示された低減目標の実践

II. 安全管理セッション

1 医療安全学	医療安全学を通じて実践した事例報告、放射線診療におけるリスクマネジメントの実際、インシデント・アクシデント事例、医療事故防止の対策、職業被ばく・医療被ばくによる障害防止、職員教育、事故防止マニュアルなど、撮影室での感染対策など
2 放射線安全管理	被ばく管理（患者被ばく管理・作業従事者被ばく管理）、大規模・中規模・小規模・検診施設での事故および医療安全対策、PDCA サイクルの実践
3 放射線機器安全管理	安全管理・保守管理に関する実践

4	医療画像精度管理	感光材料, 信号検出能, 画像表示装置, 画像評価
5	医療画像情報管理	医療情報システム, 医療データ保存・管理, 画像圧縮技術, 画像通信
6	医療機器安全管理責任者講習	医療機器安全管理責任者講習に関する実践
III. 臨床技術セッション モダリティー別		
1	エックス線撮影	CR・DR など関連機器を含む撮影法・技術評価・臨床応用・精度管理・物理特性
2	消化管撮影(その他 DR 撮影)	DR など関連機器を含む撮影法・技術評価・臨床応用・精度管理・物理特性
3	血管撮影	DSA・DR など関連機器を含む撮影法・技術評価・臨床応用・精度管理・物理特性
4	エックス線 CT 検査	CT の撮影技術, 画像評価・技術評価・臨床応用・精度管理・物理特性
5	MRI 検査	MRI の撮像技術, 画像評価・技術評価・臨床応用・精度管理・物理特性
6	超音波検査	超音波検査の検査技術, 画像評価・技術評価・臨床応用・精度管理・物理特性
7	骨塩定量検査	骨塩定量検査の検査技術, 画像評価・技術評価・臨床応用・精度管理・物理特性
8	核医学, SPECT	核医学, SPECT の検査技術, 画像評価・技術評価・臨床応用・精度管理・物理特性
9	PET, PET / CT	PET, PET / CT の検査技術, 画像評価・技術評価・臨床応用・精度管理・物理特性
10	放射線治療	放射線治療技術, 治療計画, 保守管理, 固定具, マーキングなど技術評価・臨床応用・精度管理・物理特性
IV. 臨床技術セッション 疾病・臓器別		
1	頭頸部	
2	胸部	
3	腹部	超音波, 一般撮影, MRI, CT など複合のモダリティーの画像から有用であった臨床についての発表)
4	骨・軟部領域	
5	循環器	
6	マンモグラフィ	
7	その他	1～6 に当てはまらない場合
V. 画像読影セッション		
1	読影	読影の実践
VI. 教育		
1	人材育成	中高生への進学指導など地域での取り組み, オープンキャンパスなど教育機関での取り組み
2	技師教育	診療放射線技師養成機関での教育, 新人教育・中堅教育・管理職教育, 機器関連・医療情報関連メーカーの診療放射線技師の教育など
3	OJT (On-the-Job Training)	施設内教育・教育訓練
VII. その他		
1	その他	上記いずれのセッションにも含まれないと思われる診療放射線技師に関する演題